



湖南中学校だより

令和7年3月号

文責 校長 山根 斉 浩

◇春本番を迎えました◇

弥生3月です。季節が巡り春本番が近づいてきました。3月に入り、中学校では公立高校の入試から卒業式へと、節目の時を迎えました。

今年度、湖南中学校では162名の卒業生を送り出しました。暖かな陽ざしが降り注ぐ中、ご来賓の皆様、2年生と教職員、そしてたくさんの保護者の皆様に見送られて、卒業生たちは笑顔で学び舎を後にしました。9カ年の義務教育を終えて、自ら選択した進路に歩みを進める卒業生のこれからの、幸多かれと願っています。湖南中学校だより（3月号）では、卒業式の様子を中心に学校の様子を紹介します。



◇第50期「卒業証書授与式」を挙行了しました◇

今年度の卒業生162名が、黄色い花飾りを胸につけて、少し緊張した表情で体育館に入場し、卒業式が始まりました。学級担任が卒業生を一人ずつ呼名し、卒業生が気持ちを込めた返事をして起立しました。その立ち姿を、保護者の皆さんにご覧いただけて良かったと思います。全員の呼名終了後、学級代表の生徒5名に校長から卒業証書を授与しました。続いて校長が式辞を述べ、その中で「卒業生の三年間を振り返り、人の成長と失敗の積み重ね」について卒業生にメッセージを伝えました。次にご来賓を代表してPTA会長の三浦さんから、卒業生と保護者の皆さんにご祝辞をいただきました。その後、在校生を代表して生徒会長の森脇さんが送辞を述べました。これに答えて卒業生代表の河本さんが答辞を述べ、たくさんの人に感謝の気持ちを伝えました。式の様子と卒業生代表の答辞を一部抜粋して紹介します。



式の中で卒業生が見せてくれた姿は、凛としていて大変立派でした。新しい世界に向かって新たな一歩を踏み出そうとする若者の気持ちが、体中から発散されていたように感じました。卒業生を送り出す2年生の姿も、卒業生への感謝と温かく見送る気持ちが込められていて、厳粛な卒業式を盛り上げてくれました。

＜卒業代表 答辞＞（原稿を一部抜粋しました）

私達第50期卒業生162名は、卒業の時を迎え、それぞれの新たな道へ、歩みだそうとしています。今から3年前の入学式。あの時の期待や不安は、まるで、昨日のことのよう鮮明に思い出されます。あれから3年、笑ったり、泣いたり、時には怒ったり。この間積み重ねてきた思い出は、私達の宝物となりました。今年、湖南中学校は創立50周年という大きな節目を迎えました。先輩方の伝統を

受け継ぎ、さらに進歩させていくという思いを込めて、第50期生徒会スローガンは「飛躍 ～繋ぎ輝く新たな歴史～」になりました。伝統ある湖南中学校の、50周年という節目に立ち会えたことを、嬉しく思います。節目の卒業生となる私達第50期生は、とても明るく、優しく、友達思いの仲の良い学年でした。同じ教室で共に学び、休み時間には、趣味の話で盛り上がったり、くだらない話でバカ笑ったり、一緒に外で運動したり、ときには喧嘩をすることも……。たくさんの個性的な仲間と一緒に過ごしてきたこの3年間。今思い返すと、その当たり前の時間の一秒一秒が何よりの幸せでした。もちろん、楽しいことばかりではなく、辛いこと、悲しいこともありましたが、しかし、この大切な仲間たちに私は何度も救われ、支えられてきました。何事にも一生懸命なあの人、困っているときに後先考えず私に手を差し伸べてくれるあの人、どんな些細なことでも相談に乗ってくれたあの人、いつまでも太陽みたいな明るい笑顔で優しく接してくれるみんな。あなた達がいたおかげで、いつだって前向きに、自分に正直に過ごすことができました。明日も頑張ろうと思うことができました。たくさんの元氣と勇気をもらいました。「ありがとう。みんな大好きです!!」



3年間の特に思い出に残ったことは、今年の体育祭と合唱コンクールです。体育祭スローガンは「和・笑・輪」。最後には、みんなで「Wa」の円陣を組みましたね。また、合唱コンクールでは、歌詞の一つ一つに込められた思いを噛み締め、そのクラスだけしか歌えない最高のハーモニーを作り上げることができたと思います。これも「忘れることなんかできない」大切な思い出です。そんな体育祭や合唱コンクールが成功したのは、みんなの「飛躍したい」、「成長したい」という思いが、繋がり合って、共鳴し、輝いたからだ、今ならはっきり言えます。そして、今日を迎えることができたのは、家族の支えがあったからです。いつだって私達のそばにいてくれて、私達のことを第一優先に行動してくれました。いつだって私達のことを思い、叱り、励ましてくれました。時には、そんな気持ちに一切気づかず、反抗してしまうこともありましたが、まだまだ未熟な私達は自分に手いっぱい、注がれている愛情を受けとめることが出来ませんでした。本当にごめんなさい。それにもかかわらず、絶えず愛情を注ぎ続けてくれた私達に対する優しさには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。これから私達は、それぞれの進路を歩んでいきますが、これからも皆様の支えが必要になるはず。その時が来るまで優しく見守り、間違えることがあったら叱ってください。よろしくお願いします

私達はこの3年間で、たくさんの成長、飛躍を感じてきました。様々な体験や経験を経て、身も心も、飛躍したいという意志も成長させることができました。だからこそ、私達はさらに自分や仲間を信じ、さらに成長、飛躍できると思います。今を限界として終わらせるのではなく、これからもどんどん限界を超えて、さらなる明るい未来に飛躍できるよう、頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、この学び舎での素晴らしい出会いと、かけがいのない思い出を胸に、中学校3年間で支えてもらった全ての方々に心より感謝して、答辞とさせていただきます。

令和7年3月8日

第50期卒業生代表

河本 涼

◇卒業式後の歓送を盛り上げました◇



3年生は、最終学活で卒業証書を受け取り卒業していきました。昇降口の外では、2年生が卒業生の見送りをしました。新生徒会が企画したイベントを2年生全員で実施しました。リーダーを中心にエールを送り、残りの2年生全員が2・3階の教室のベランダから、合図に合わせて卒業生へのメッセージを表示しました。卒業生からも、2年生にエールを返してくれました。2年生、教職員、保護者の皆さんで盛大に卒業生を送り出しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんの新しい世界での活躍をお祈りしています。

◇令和6年度終了◇ 今年度は湖南中学校にとって大事な行事が続きましたが、保護者や地域の皆様からご支援とご協力をいただき、無事修了式の日を迎えることができました。皆様からいただきましたご厚情に心からお礼を申しあげます。令和7年度も引き続きよろしくお願いいたします。



